

「JSLカリキュラムについて」

日本語指導が必要な子供たちに、日常会話だけでなく、日本語で学習活動に参加する力を付けるにはどうしたらよいでしょうか。



それなら「JSLカリキュラム」を取り入れるとよいでしょう。「JSLカリキュラム」は、日本語を学ぶことと教科内容を学ぶことを、一つのカリキュラムとして構成する「日本語と教科の統合学習」の考え方に基づいて開発されたもので、「日本語で学習活動に参加する力（＝学ぶ力）」の育成をねらいとしています。「トピック型」と「教科志向型」の二つのタイプがありますが、今回は「トピック型」JSLカリキュラムについて御紹介します。

（「JSL」は、Japanese as a Second Language（第二言語としての日本語）の略）



「トピック型」JSLカリキュラムとは

- 各教科に共通した学ぶ力の育成を目指す。
- 特定の教科の枠組にしばられないテーマを基に学習課題（トピック）を設定する。
- 「体験」→「探求」→「発信」という段階で学習を進めていく。

「体験」：体験を日本語で表現する。

「探求」：他の子供達や教師とともに調べる。

「発信」：成果を日本語で表現する。

【「AUカード」を用いた授業づくり】

○AUカードは、「トピック型」の学習活動の中に日本語表現を組み込んでいく作業を支援するツールです。AUは、学習活動の各局面を構成する活動単位「Activity Unit」の略であり、AUカードは、それぞれの活動を行うために必要な日本語表現のバリエーションを組み合わせ、一枚のカードにしたものです。例えば、「探求」の場面における「比べながら観察する」という活動では、次のようなAUカードを用いることで、学びを支援することができます。

AU：比べながら観察する1「比較観察の誘いかけ」 よく使う言葉→比べる、違う、どこ		
教師・指導者の発問・指示		応答の表現
基本形	①～と～を比べてみよう。	○はい。（観察する）
バリエーション	①～と～は違いますか。 ②どこが違いますか。	○はい。（観る） ○～が違います。

※文部科学省HP『学校教育におけるJSLカリキュラムの開発について』（最終報告）小学校編』では、「AU一覧」として、100以上のAUカードが掲載されています。ぜひ参考にしてください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001/008.htm



「トピック型」授業の例（テーマ：月）



1 ねらい

- ①月について見たことや知っていることを絵に描き、簡単な日本語で友だちに伝えられる。
- ②擬似的体験による観察を通して、月の位置と形（見え方）の関係についてだいたい理解できる。
- ③疑似体験を通して分かったことや調べたことを短い文にまとめ、写真や図を使って発表できる。

2 授業の流れ

	活動	AU・主な表現
体験	<ul style="list-style-type: none"> ・月の写真を見て話し合う。 ・月を見た経験について説明する。 ・自分が見た月を絵に描いて説明する。 	<p>T：月を見たことがありますか。</p> <p>S：（いつ、どこで、誰と・・・）見たことがあります。</p> <p>T：どんな月でしたか。</p> <p>S：丸い／半分の／大きい月でした。</p>
探求	<ul style="list-style-type: none"> ・懐中電灯の光をボールに当て、ボールを移動させて月の形の変化を観察する。 ・観察の結果を図で表現する。 	<p>T：月の形はどう変わりましたか。</p> <p>S：丸（満月）が半分（半月）になりました。</p> <p>T：月の形がどう変わったか図に描きましょう。始めはどんな形でしたか。それからどうなりましたか。</p> <p>S：始めは丸い（満月）です。次に半分（半月）になりました。（ジェスチャーでもよい）</p>
発信	<ul style="list-style-type: none"> ・月と太陽の位置関係と、月の形の変化とを関連付ける。 ・分かったことを書いてまとめ発表する。 	<p>T：太陽はここです。月がAの時、月の形はどんな形ですか。月がBに来るとき、どう変わりますか。</p> <p>S：月がAの時は満月、Bに来ると半月、Cに来ると三日月に変わります。</p>

3 語彙と文字

活動中に自然な形で聞かせたり使わせたりすることで、次の語彙・文字の力を強化することができる。

- (1) 語彙：日本語能力及びトピックに関する知識を考慮して、語彙（数も）を選択する。

- ・月の形状に関する語彙：丸い、細い、満月、新月、半月、三日月
- ・天体に関連する語彙：太陽、月、地球、空
- ・時間に関連する語彙：夜、昼、朝、夕方、昨日

- (2) 文字：対象児童の文字の読み書きの力に応じて、意識化させる文字を決める。

漢字：形、満月、半月、三日月、太陽、地球、太い、細い、丸い 変わる、東、西、南、北

4 活動のバリエーション

- ・対象児童が一人の場合には、資料や図鑑などを活用して、学習内容に広がりが出るようにする。
- ・出身国に、月に関連する祭事・行事があれば、それについて詳しく紹介することを、中心の活動にして展開してもよい。